

中小企業診断士の基礎力向上講座

講師：横山 英樹

1. 講座の目的

われわれのクライアントである中小企業経営者は生身の人間であり、経営とはその生身の人間の営みです。

従って経営支援にとって一番大切なのは、経営者と我々診断士がお互いに人間として理解しあうことであると考えますが、人間として理解しあうというのは決して容易なことではない。永く取組まなくてはならないテーマであると思っています。

については同じくこの問題に向き合ってきた先人たちに、読書を通じて学んでみたらどうでしょうか。私はこの試みを通じ、真に力があり魅力ある診断士を輩出するためのプラットフォームづくりの一助としたいと考えています。これが本講座の目的です。

2. 講座の概要

2018年度より講座を開始した。毎年6月～11月まで毎月1回、第3火曜日(または木曜日)の夜2時間、予め参加者の意向に基づき選定した本を読み、自筆の読後感を持参して発表していただき、その発表をもとに幅広い意見交換を行います。

読後感是要約ではなく、自身の受けた印象や思いを中心に書いていただいています。自分の考えをまとめ、文章化するのには、読書は単に知識を得るためではなく、それをきっかけに熟慮・熟考することが何よりも大切と考えるからです。

これまで2年間で取り上げた主な著書は次の通りです。

著者	著書
佐藤一斎	言志四録
勝海舟	氷川清話
石牟礼道子	苦海浄土
カント	永遠平和のために
安岡正篤	運命を創る
世阿弥	風姿花伝
ユヴァル・ノア・ハラリ	ホモ・デウス
中根千枝	タテ社会の人間関係
唯円	歎異抄
渋沢栄一	論語と算盤
ショウペンハウエル	読書について
マックス・ウェーバー	プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神

3. 参加者について

2019年度の参加者は講師を含め4人と少人数でしたが、毎回相当な思いをして読み、読後感を携えて参加し、活発な意見交換、ざっくばらんな自己の開示に努めてもらいました。

4. 参加者の声

・多忙な中で、まとまった本を読み感想文を書くことは、いささかの体力と知力を要する作業だったが、この機会がなければ決してこれだけ読むことはできなかった。

・読書では新たな人や登場人物に出会い、新鮮に驚くとともに、読後感では同じ本を読んでもこれほどまでに違う受止めかたをするのかと思わされ、日ごろの業務とは大きく異なる視点からの見方や気づきを得ることができた。

・来年度もぜひ開講してほしい。引き続きの受講により読書を自分の生活の一部として定着させたい。

5. 2020年度の活動予定

2020年6月から11月まで毎月1回、読後感を持ち寄り発表、意見交換を行うことを通じ、先人に学び、仲間同士で学び、考える場を持ち続けたいと考えています。

講師紹介



2003年 中小企業診断士登録
当初より埼玉県協会に属し活動、今日に至る。

講師 横山 英樹

